

国立市立小・中学校長・ PTA会長等連絡会報告

令和4年7月13日 第1号
国立市立小・中学校長会 会長 日野 正宏
(国立市立国立第三小学校 校長)
TEL: 042-572-3197
FAX: 042-572-3198

令和4年6月30日(木)に、国立市役所において、第1回の会合を開催しました。立川警察署・国立市教育委員会から、国立市の小・中学生の安全確保の情報や健全育成の取組についての話を伺いました。また、各校の今年度の状況などの情報交換を行いました。

1 開会挨拶 国立市立小・中学校長会 会長

学校では熱中症対策と感染症対策の両方をとりながら、学びを止めずに今何ができるかを常に考え、教育活動を進めている。子供たちが安心・安全の中で学びが続けていけるようにPTAとも連携していきたい。

本会は平成16年当時の校長会とPTA会長が話し合いの場を設けた。当時、市内でも子供たちに係る事件が多発し、被害防止のため、情報を共有することが目的だった。子供たちの健全育成や安全確保のために連携を続けたい。

2 「国立市児童・生徒の生活安全上の課題と解決策について」 警視庁立川警察署 生活安全課少年第一係長

- ・立川駅はターミナル駅なので他地区から来る子が多く、補導されている例もある。
- ・6、7月は薬物乱用防止月間と位置付けている。大麻はゲートウェイ薬物とされ、そこから覚醒剤等に発展していることが懸念される。風邪薬を多量に服用して現実逃避することは、昨年12月から補導対象となっている。
- ・SNSの対応は最重点課題としている。ペアレンタルコントロールをお願いしている。

3 「児童・生徒の安全確保と健全育成について」 国立市教育委員会 教育指導支援課長

・令和4年度の国立市教育委員会の事業計画から

- ① 「命の教育」推進事業について 「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」に基づき一人一人の人権を大切にして学校づくりを推進する。国立市いじめ防止対策推進基本方針に基づき、認知したいじめに対する組織的な対応と同時に未然防止が重要だと捉えている。
- ② 「魅力ある学校作り推進事業」について Q-U調査を行い各校で分析をして学級での支援に活かしていく。
- ③ 学力・体力向上事業について 「主体的・対話的で深い学び」を推進するとともに、1人1台端末やデジタル教科書の更なる活用を進める。
- ④ 特別支援教育推進事業について フルインクルーシブ教育と個別の支援のための環境整備を推進する。令和5年度に向けて、市内3校目となる小学校情緒障害等特別支援学級と、特別支援教室における4拠点校体制の開設準備を進めている。
- ⑤ 不登校対策事業について オンラインシステムの活用や給食の提供等、教育支援室の指導の充実を図る。

4 意見交換・情報交換【各学校から】

〔学校の様子・PTAの様子〕

- PTAにも協力してもらい、感染症対策を講じて学校行事などを進めた。運動会は入替制で実施した。移動教室・修学旅行、引き取り避難訓練などを実施した。職場体験などを計画している。
- 合唱コンクールなどを実施する予定。
- 定期総会、家庭教育研修(ゲーム依存予防)、草むしりボランティアなどPTA活動を対面で実施。
- 定期総会の書面開催、リモートでの運営委員会などコロナ禍で工夫して取り組んでいたことを継続している。
- PTA活動の組織化、仕事分担の平準化に取り組んでいる。
- 周年行事に向けての取組や学校行事の手伝いなどを計画している。

〔健全育成に関する事項〕

- 夏休みに向けて、サマーフェスタ、夏まつり、ラジオ体操などを実施予定している。
- 育成会もフットサル、花火などを実施予定している。
- 地域の防災訓練を実施した。

5 閉会挨拶 国立第五小学校 PTA会長

夏休みになると子供たちが集まる機会が多くなると感じている。その際、保護者の見守りが大切だと考える。また、フルインクルーシブの考え方や多様な学びができることは大切であり、連携して環境整備を進めていきたい。